

2022 年度共通教育科目 FD 活動報告

共通教育委員会委員長

花木 亨

■宗教科目(宗教教育委員会)

➤ 宗教科目担当者懇談会の実施

2022 年度宗教科目 FD 活動方針・活動計画に基づいて、科目担当者懇談会を 2023 年 3 月 3 日に Zoom にて実施した。事前に教材・資料の提出を依頼して配布、もしくは当日資料を画面共有して、担当者毎に自身の①授業運営について②現状・今後の課題③他の担当者との意見交換を行った。(参加者 12 名)

授業運営については、オンラインツールの活用について利点を挙げる声が多くあり、対面となっても引続き利用したいと言う教員が多かった。また、宗教科目は全学必修科目であり様々な学部の生徒が受講するため、各学部の特色や理念などを理解し授業を組み立てるよう努力していること、宗教についての先入観をできる限り払しょくし、興味関心を惹くため様々な媒体を利用した教材を作成していることなど、各教員による授業の工夫の紹介があった。問題点として、学生による授業評価の対象に必修科目はそぐわないのではないかという意見もあり、また大教室・大人数のため学生からの積極的な挙手や質問が出にくい等の現状報告もあった。その他、一人の教員が用いている資料で良いものは教員間で共有し使用してはどうかという意見もあった。

懇談会でこれらの意見を集約の上各担当者で共有し、引き続き意見交換・情報共有を継続していきたい。

➤ 宗教論受講生対象講演会の実施

2020 年度と 2021 年度には新型コロナウイルス感染拡大予防の理由により開催できなかった講演会を今年度は Zoom にて開催した。

この講演会はキサラ学長による学長講演会であり、1 年生の必修科目である「宗教論」受講生全員を対象とした講演会である。1 年生であった 2020 年度と 2021 年度に受講出来なかった今年度の 2、3 年生にも広く開催を告知し、希望者は受講できるよう配慮した。

「カトリック大学で学ぶ意味を考える」という演題で、各クォーターに 1 回ずつ、計 4 回の講演会を開催した。各講演会終了後、受講生のアンケートを PORTA にて実施し、講演内容に対する評価や南山大学で学ぶことについての意見を求めた。回答内容を集約して科目担当者や学長の間で共有し、宗教科目改善のための資料としている。

講演会日時:

【Q1】2022 年 4 月 20 日 (水) 15:30~17:10

【Q2】2022 年 6 月 29 日 (水) 13:35~15:15

【Q3】2022 年 9 月 28 日 (水) 13:35~15:15

【Q4】2022 年 12 月 14 日 (水) 13:35~15:15

■ 体育科目・スポーツ科目（体育教育センター）

2022 年度も引き続きコロナ禍対応のために、実習人数を半減して基礎体育 A および基礎体育 B を実施し、特別体育は zoom 実習を継続した。

一方で、2023 年度に実習人数を元に戻すことを念頭に置いた運営の準備を行った。まず、来年度の更衣人数増加に対応するため、学生課 SSR と連携し体育センター1F の更衣室利用人数を二酸化炭素濃度のモニタリングをしながら段階的に増加させた。

また、8 月 4 日には FD 活動として体育施設および用具・備品の検討会を行い、受講人数増加にも柔軟に対応できる授業環境整備を実施した。

■ 情報倫理・情報科目（情報センター）

以下のとおり FD 研究会を実施した。

- ・ 2023 年 3 月 27 日（月）14:00-14:40（オンライン）
- ・ 2023 年度「情報倫理」科目担当者 10 名
- ・ 内容：2023 年度に向けての確認事項

2023 年度の「情報倫理」も e-learning と対面授業を組み合わせた従来通りの方式で実施することを確認した。グループディスカッションと発表を中心とするアクティブラーニング形式の授業の効果的な実施に向けて、以下の項目について意見交換を行った。

- ・ レポート課題と ChatGPT など AI 技術を用いた文書生成サービス
- ・ 発表動画の作成
- ・ TA の活用方法

■ 「人間の尊厳」科目（人間の尊厳科目委員会）

2022 年度人間の尊厳科目 FD 活動方針・活動計画に基づいて、2022 年 12 月 7 日 16:00～17:00 にオンライン形式で「人間の尊厳」科目担当者による「人間の尊厳科目 FD 懇談会」を実施し、16 名が参加した。懇談会では、オンライン授業と対面授業それぞれの長所と短所、100 分授業に移行したことに伴う授業の進め方の工夫などについて、意見交換を行なった。オンラインと対面とでは、それぞれの長所・短所をそれぞれ議論し、100 分授業については、学生の集中力を考慮して適宜休憩をはさむなどの工夫の必要性などが論じ合われた。

その上で、来年度以降に完全対面に戻った際に、オンラインの効果的側面（授業の資料等の取り扱いなど）を生かしつつ、対面のメリットを生かすことを、改めて考えることが来年度の課題として挙げられた。

■ 基盤・学際科目（基盤・学際科目委員会）

基盤・学際科目の特徴や各科目間の関係についてまとめた『2023 年度基盤・学際科目案内』を作成し、大学ウェブサイトの教務案内に掲載した。この科目案内の作成をおし、各コーディネーターが基盤・学際科目の全体像をより明確に捉えることができるよ

うになった。また、コーディネーターと各担当教員、コーディネーター同士の連携が促進された。

■キャリア教育科目（キャリア支援委員会）

1. キャリア科目「インターンシップ研修Ⅱ」報告会を対面で9月28日（水、13：30～15：00）に実施した。実習受入れ企業参加のもと、47名の学生がインターンシップ実習の成果をグループに分かれて報告。キャリア支援委員は司会進行を務め、学生に対するフィードバックを行った。また参加企業からも学生にアドバイスと励ましを伝える機会になった。

キャリア科目「インターンシップ研修Ⅱ」実習受入機関（7機関9名）とキャリア支援委員との意見交換会を対面で上記報告会后に行った（15：30～16：30）。インターンシップ研修をさらに充実させ、大学・受入企業（機関）双方にとって意味のあるものにするため、参加企業からインターンシップ研修への意見・要望等を伺った。また、次年度の受入れ方針や、実施方法などについて意見を得た。

2. FD・SD研修会（対面＋オンライン）を6月20日（月、15：30～16：30）に『南山の就活支援の課題をみんなで考える』[講演者：(株)マイナビ・田上潤平氏、参加者：教職員44名]と題して実施した。その後、トークセッションでは、3・4年生の状況、オンラインの採用活動、等の対応について話し合った。今後の学生指導のために大いに役立つ機会となった。

■海外研修科目（国際センター）

2022年7月7日（木）に開催された国際センターFD・SD講演会「大学広報に関するFD/SD研修会」（講師：中京テレビ放送株式会社 コーポレート局・次長 原京二氏）に、科目担当者が参加し、メディアの活用方法や大学と危機管理広報の重要性などを聞き、意見交換を行った。

■外国語科目（外国語教育センター）

外国語教育センターでは2022年度にFD研修会を英語教育部門で2回、初習外国語教育部門で1回行った。

英語教育部門では、副センター長と専任教育職員が参加する部門内ミーティングを定期的に開催し、授業運営や学生支援などについて意見交換を行い、授業改善に取り組んだ。

初習外国語教育部門では、円滑な授業運営のための情報共有を目的として、副センター長および各言語のコーディネーター教員（韓国朝鮮語担当以外は英米学科を除く外国語学部所属）が定期的なメールの相互連絡によるミーティングを実施している。

以 上